

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 18-037

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 簇出を中心とする病理因子による舌扁平上皮癌リンパ節転移と予後因子の検討

- ・目的：口腔扁平上皮癌(SCC)の予後因子として、リンパ節転移が重要です。しかしながら早期癌における潜在的転移リンパ節の画像検出は臨床上限界があり、予防郭清の適応基準はいまだ論争となっています。当研究では、当院の既治療症例を後方視的に解析し、病理組織学的・免疫組織学的検討を追加することで、より有効な潜在的転移リンパ節予測因子を確立することを目標としています。
- ・研究期間：臨床研究IRB承認日～2027年12月31日
- ・研究対象：2007年4月1日～2024年12月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：カルテから、臨床情報(年齢、性別、既往歴(頸部治療歴)、重複癌)、治療内容、病理組織型、後治療を確認します。

利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 蝦原 康宏

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 蝦原 康宏